

## 【防災部会活動報告】

松江市防災安全課とコラボして、松江市の朝酌小学校で4年生を相手に防災出前授業を行いました。

○日時:令和2年1月28日(火) 10:45-12:25(3時限~4時限)

○参加:小学4年生20名+教諭2名,松江市防災安全課2名,島根県技術士会3名

この活動は松江市防災安全課が行う防災安全出前授業に本会防災部会が便乗させてもらったものです。松江市職員であり本会防災部会員である永田良和氏の計らいにより実現しました。

授業は3時限目に松江市防災安全課が、松江市で起きた災害、特に風水害の話、またハザードマップの利用について話しました。そして4時限目に筆者が土砂災害について話しました。その内容は以下のとおりです。

まず、土砂災害とはなにかを、山崩れ、地すべり、落石、土石流についてインパクトのある画像を用いて説明しました。そして、土石に埋まった家の写真を見ながら、土石流の恐ろしさを解説しました。

次に、山崩れと土石流のCG動画、また実際に撮影された山崩れのビデオ映像を披露し、山崩れと土石流を理解してもらいました。これらの動画は生徒に大好評でした。

それから次のような質問をしました。

- 1) 日本は世界の中で地震の多い国か? →ほぼ全員が手を挙げました
- 2) 島根県内で大きな地震が起こったことがあるか? →約半数が手を挙げました
- 3) 島根県には土砂災害の危険箇所が多いか? →約1/3が手を挙げました
- 4) 松江市でも土砂災害が起こったことがあるか? →約半数が手を挙げました
- 5) そのうち死者がでた災害があるか? →手を挙げたのは1名だけでした



答えは全部「YES」だと伝えると教室がざわつきました。私はここで手ごたえを感じました。個々の質問に対する答えを解説していると、「私もこのような土砂災害の対策にちょっと関係しています…」などと、あまり意味のない言葉で間をつなごうものなら、「ちょっとかよ」と生徒からすかさず突っ込みが入ります。近頃の小学生は授業中の私語を咎められないようで少々面食らいましたが、そのおかげもあって授業がよい感じに盛り上がりました。

私はこの講座の締めくくりを、「危険を知ることが大事。家の人、特におじいさん、おばあさんは古いことも知っているので危ない場所を教えてください」というところに置いていました。そこで「おじいさん、おばあさんが50歳だとしても、子供のころに、そのまたおじいさん、おばあさんから話を聞いているので、100年前のことも知っています」と言えば、「50歳のおじいさん? わかつ」と突っ込みが入ります。いまだきの小学校4年生、あなどれません。

余談ですが、3時限と4時限の間の小休憩時間に、次の授業はこちらのおじいさん先生がおこないます、と私は周りの生徒に紹介されました。これは私にとって衝撃的でした。相手が小学生だからにしろ、私は年齢60をもって、おじいさんからおじいさんと呼ばれるようになったのでした。

(長嶺元二)